

- 問1 近畿・中部地方の各県を比較した農林水産統計において、ある県は「海面漁業」の生産量が0である一方、「漁業生産量の総数」と「内水面漁業」の数値が完全に一致しています。日本最大の湖である琵琶湖を擁する滋賀県の産業の特色として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 海に面していない内陸県であるため、海面漁業は行われず、漁業生産のすべてが琵琶湖や河川などの内水面で行われている。 | 2. 森林面積が県域の多くを占めているため、漁業や農業の生産額よりも林業産出額が統計上で最も大きな割合を占めている。 | 3. 日本海に面した若狭湾を利用して海面漁業が行われているが、統計上は琵琶湖の淡水魚と合算して表記されている。 | 4. 大規模な干拓事業によって琵琶湖の面積が縮小したため、現在は漁業よりも稲作を中心とした農業が産業の主体となっている。 |
|---|--|---|--|
- 問2 近畿地方のある地域における工業の特徴を述べた統計において、全従事者に占める繊維工業従事者の割合が他の地域に比べて高く、さらに1事業所あたりの平均従事者数が10人未満と少ないことが示されています。このような特徴を持ち、京都府で古くから生産されている伝統的工芸品はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 結城紬 | 2. 西陣織 | 3. 大島紬 | 4. 久留米絨 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問3 日本の観光産業に関する記述として、京都府の特徴を説明したものを選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。 | 2. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。 | 3. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。 | 4. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。 |
|---|---|---|--|
- 問4 近畿地方の各府県の産業統計において、製造業の出荷額が非常に高く、農業面では米よりも「畜産」や「野菜」の産出額が大きな割合を占めているという特徴を持つ府県はどこですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 和歌山県 | 2. 兵庫県 | 3. 滋賀県 | 4. 奈良県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問5 日本の都道府県の一つである兵庫県は、北側は日本海に、南側は瀬戸内海という二つの異なる海に面した特徴的な地形をしています。この兵庫県の県庁所在地であり、かつ市内に日本の時刻の基準となる「日本標準時子午線」が通る都市はどこですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 高知市 | 2. 大分市 | 3. 秋田市 | 4. 神戸市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 西日本の地図において、近畿地方の南側に大きく突き出した紀伊半島に位置する都道府県があります。この県は、農作物の生産量データにおいて「うめ」が約5万3千トンと他県を圧倒して日本一であり、さらに「みかん」の生産量も14万トンを超えるなど非常に多いという特徴がありますが、この都道府県はどこですか。（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 静岡県 | 3. 和歌山県 | 4. 愛媛県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問7 日本最大の面積を誇る琵琶湖を擁する滋賀県の地理的・歴史的な特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 日本海に面した北陸地方の県であり、古くから京都への魚介類の供給路である鯖街道の起点として栄えた。 | 2. 海に面していない内陸県であり、16世紀には織田信長によって天下統一の拠点となる安土城が築かれた。 | 3. 伊勢湾に面した東海地方の県であり、県庁所在地の大津市は東海道新幹線の沿線として急速に発展した。 | 4. 県庁所在地を奈良市に置く内陸県であり、琵琶湖から流れ出る淀川の水資源を管理する役割を担っている。 |
|---|---|--|---|
- 問8 琵琶湖の岸辺に広がるヨシ群落を保全するために、自治体が条例を定めて保護に取り組んでいる主な目的は何ですか。地域の環境と人間活動の関係に着目して答えなさい。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 特定の外来種のみを駆逐するために、ヨシ群落を薬品で一度枯らし、人工的な管理が行いやすい環境を作り出すため | 2. ヨシを建築資材や燃料としてのみ利用することを目的とし、古い時代の生活様式を完全に復元して近代的な開発を禁止するため | 3. 湖岸をすべてコンクリートの堤防で囲む工事の準備段階として、一時的に植物を保護し、工事の反対運動を抑えるため | 4. 自然が持つ浄化能力や防災機能を維持・活用することで、人と自然との共生を図り、豊かな湖の環境を次世代へ引き継ぐため |
|---|--|--|---|
- 問9 滋賀県の人口動態に関する将来推計において、1975年から2045年にかけての統計を確認すると、2010年頃をピークに総人口が減少に転じることが予測されています。また、2045年には65歳以上の老年人口が0歳から14歳の年少人口の約2.7倍に達するという推計が出ています。このように、子供の数が減り、高齢者の割合が非常に高まる社会現象を何といいますか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|--------|---------|
| 1. 少子高齢化 | 2. ドーナツ化現象 | 3. 過疎化 | 4. 人口爆発 |
|----------|------------|--------|---------|
- 問10 ある地域における統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり564.4人と比較的高く、国から指定された伝統的工芸品の品目数が17品目にのぼる府県があります。この地域の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 輪島塗のような漆器産業が17品目のうち過半数を占めており、近畿地方における伝統工芸の供給拠点となっている。 | 2. 人口密度が高いため、都市近郊農業と並行して、九谷焼などの色鮮やかな陶磁器を大規模な工場で工業生産している。 | 3. 伝統的工芸品の種類は多いが、人口密度が高いため職人の確保が難しく、小千谷縮のように農村部の副業として発展した品目を中心である。 | 4. 長い歴史の中で都として栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。 |
|--|--|--|---|
- 問11 和歌山県の有田市周辺など、2万5千分の1地形図において山の斜面に「丸の中に点」の地図記号が密集している地域で見られる、近畿地方を代表する農業の様子として正しいものはどれですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 都市の近くで新鮮な野菜を供給するため、高度な施設を利用した近郊農業が行われている。 | 2. 標高の高い高原の冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの高原野菜が栽培されている。 | 3. 全国1位の生産量を誇るみかんの果樹園が広がり、急斜面を活かした栽培が行われている。 | 4. 平地の水田地帯を利用して、大消費地である大阪や京都向けの米作りが行われている。 |
|--|--|--|--|
- 問12 滋賀県と全国の農業産出額の内訳を比較した際、全国ではその割合が2割強にとどまる一方で、滋賀県では産出額の半分以上（50%超）を占めている特徴的な農作物はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 米 | 2. 畜産 | 3. 果実 | 4. 野菜 |
|------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 海に面していない内陸県であるため、海面漁業は行われず、漁業生産のすべてが琵琶湖や河川などの内水面で行われている。	滋賀県は周囲を山々に囲まれ、海に面していない「内陸県」です。統計上、漁業は海で行う「海面漁業」と、湖や河川で行う「内水面漁業」に区分されますが、滋賀県には日本最大の湖である琵琶湖があるため、県内の漁業活動のすべてが内水面漁業となります。その結果、統計上では漁業生産量の総数と内水面漁業の数値が一致するという、他県にはあまり見られない特徴的な構造を示します。
問2	答え 2 西陣織	京都府の西陣地区で見られる工業的特徴を説明しています。この地域では小規模な事業所（ワークショップ）が密集し、高度な分業体制によって高級な絹織物を生産しています。そのため、統計上は1事業所あたりの人数が少なく、繊維工業の比率が極めて高いという個別具体的な傾向が現れます。結城紬は茨城県・栃木県、大島紬は鹿児島県、久留米紬は福岡県の伝統的工芸品です。
問3	答え 2 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。	2015年のデータにおいて、京都府は中国からの宿泊客数に次いでアメリカ合衆国からの宿泊客数が多いことが示されています。これは、京都が持つ「伝統的な日本」というブランドイメージが欧米諸国で強く支持されているためです。ビジネス客が中心の地域や、買い物客が中心の地域とは異なる、独自の観光客層（文化観光）を形成している点が地理的な特徴として挙げられます。
問4	答え 2 兵庫県	兵庫県は、阪神工業地帯や播磨臨海工業地域を含み、製造業の出荷額が近畿地方でもトップクラスです。また、農業においては広大な県域を活かし、神戸ビーフに代表される畜産や、淡路島のたまねぎなどの野菜栽培が盛んであり、単なる工業県ではなく農畜産業にも特色があります。
問5	答え 4 神戸市	兵庫県は本州を南北にまたぐように位置しており、日本海と瀬戸内海の両方に海岸線を持っています。この県に位置する神戸市は、国際貿易港として発展してきただけでなく、西端の西神地域などを東経135度の日本標準時子午線が通過していることでも知られています。なお、日本標準時子午線は同じ兵庫県の明石市を通ることで有名ですが、神戸市内も通過点の一つです。
問6	答え 3 和歌山県	紀伊半島に位置する和歌山県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、山がちで斜面が多い地形を活かした果樹栽培が非常に盛んです。特に「うめ」は全国の生産量の半分以上を占めるほど突出しており、「みかん」についても愛媛県や静岡県と並んで日本トップクラスの生産量を維持し続けています。
問7	答え 2 海に面していない内陸県であり、16世紀には織田信長によって天下統一の拠点となる安土城が築かれた。	滋賀県は、周囲を伊吹山地や鈴鹿山脈などに囲まれた内陸県です。県中央部にある琵琶湖は日本最大の湖であり、近畿地方の重要な水資源となっています。歴史的には、交通の要所である琵琶湖東岸に織田信長が安土城を築き、政治・経済の拠点としました。なお、大津市は滋賀県の県庁所在地ですが、伊勢湾に面しているのは三重県です。
問8	答え 4 自然が持つ浄化能力や防災機能を維持・活用することで、人と自然との共生を図り、豊かな湖の環境を次世代へ引き継ぐため	ヨシ群落の保全は、単に植物を守るだけでなく、それがもたらす水質浄化や湖岸の浸食防止といった多面的な機能を維持することを目的としています。このような自然の力を活かしながら、人間の生活環境を整えていく考え方は「人と自然との共生」と呼ばれ、持続可能な地域づくりの重要な視点となっています。条例による保護は、開発と保全のバランスを保ち、将来にわたって環境の恵みを受受するための制度です。
問9	答え 1 少子高齢化	日本全体と同様に滋賀県でも出生率の低下と平均寿命の伸びが進行しています。統計上、総人口が減少局面に入らる中で、働く世代である生産年齢人口や年少人口が減り続ける一方、老年人口が増加し続けることで、社会保障制度の維持などが課題となるこの現象は、現代日本の地理・公民分野における最も重要な社会課題の一つです。
問10	答え 4 長い歴史の中で都として栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。	統計に示された人口密度の特徴や、17品目という非常に多くの伝統的工芸品指定を受けている事実は、古くから日本の政治・文化の中心地であった京都府の特徴を示しています。京都では貴族や寺院、茶の湯の文化などを支えるために、西陣織（織物）や清水焼（陶磁器）といった、職人の高度な手作業による多種多様な工芸品が発展しました。他の選択肢に含まれる九谷焼、小千谷縮、輪島塗はそれぞれ北陸地方の工芸品であり、京都の歴史的背景とは異なります。
問11	答え 3 全国1位の生産量を誇るみかんの果樹園が広がり、急斜面を活かした栽培が行われている。	地形図の「丸の中に点」の記号は果樹園を表します。和歌山県は全国1位のみかん産地であり、特に有田周辺では山地が海に迫る地形を活かし、日当たりの良い斜面一面にみかん畑が作られています。このような土地利用は、水はけを好む果樹栽培の特性に合致したものです。
問12	答え 1 米	滋賀県は県の中央に日本最大の湖である琵琶湖があり、その周囲には近江盆地と呼ばれる平野が広がっています。この広大な平地と豊かな水資源を活かした農業が行われており、近畿地方の中でも特に稲作が盛んな「米どころ」として知られています。統計上も、野菜や畜産が大きな割合を占める全国平均とは異なり、米の生産が突出して多いのが特徴です。